

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	一般社団法人 幸樹会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 さんしょう
所在地	(〒270 - 2203) 千葉県松戸市河原塚 411-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

複合型サービスの一体型の利点を発揮し、利用者さま個々に合わせた支援を行い、在宅生活を支えています。
 24 時間、365 日対応しており、安心安全な在宅生活が送れるようサービスを提供しています。
 主治医・多職種と連携し、ご利用者さま、ご家族さまに寄り添った支援を行います。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 8 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(17) 人 ※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 10 月 14 日	出席人数 (合計)	(9) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (3 人) ☐ 市町村職員 (_____ 人) ☐ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☐ 地域住民の代表者 (_____ 人) ☐ 利用者 (_____ 人) ☐ 利用者の家族 (_____ 人) ☐ 知見を有する者 (5 人) ☐ その他 (_____ 人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		① 理念の明確化 理念の説明を行う ② 人材育成 各スタッフのスキルに合わせた目標・計画立案、定期的な面談実施 ③ 事業所内研修実施と積極的参加 ④ 安全安心して働き続けられる職場環境整備 ⑤ ミーティング・カンファレンスでの情報共有 ⑥ 事故報告書の共有と対応	① 理念を見やすい場所へ掲示 朝礼にて理念の説明実施 ② 目標・計画立案、定期的に面談し、進捗、達成度確認 ③ 毎月、職員が講師になり事業所内で研修実施 ④ 業務を見直し残業を減らす、また希望休をできるだけ取得できる体制づくり ⑤ 毎日のミーティング・週1回のカンファレンス実施、記録を全員が閲覧出来るよう配置する ⑥ ヒヤリハット・事故報告は当日共有し、再発防止策を話し合う	① 理念が長く分かりづらいとの意見あり、今後検討していく ② 期初・期末の面談は実施できたが、定期的な面談ができず、進捗確認ができなかった ③ 当日参加できなかった職員も Youtube で視聴出来るようになり参加しやすくなった ④ 早番・遅番を導入することで残業を減らすことができた。また希望休を取得できるよう勤務調整できた ⑤ ミーティング・カンファレンスでの情報共有ができた ⑥ 事故報告は当日報告、みんなで話し合い再発防止策の立案ができたことで危機管理意識を高めることができた
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	① 状況把握及びアセスメントを行い専門的な視点で計画書を作成する ② 利用者の特性・変化に合わせた対応をしていく ③ 看取りを希望されている利用者を積極的に受け入れる体制づくり	① 看護・介護の専門的視点でアセスメントし、計画を立案した ② 必要時、カンファレンスを行い、個別性の高い対応を実践 ③ 必要時、カンファレンスを行い、スタッフが不安なく看取り期の利用者を受け入れられる体制をつくった	① ②利用者・家族に合わせた計画立案ができた。状況が変わった際はその都度カンファレンスを行い計画の見直しをするなど、臨機応変に対応できた ② 今後は定期的に研修を実施していきたい

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	① 病院や訪問診療医とのカンファレンス参加	① 退院前カンファレンス、週 1 回の病院カンファレンス参加	① 退院前・週 1 カンファレンスの参加はできており連携が図れている
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	① 地域連携カフェを 1 回/2 ヶ月行うことで地域の方々へ事業所の役割など情報発信を行う	① 地域連携カフェを通じ地域の方々のコミュニケーションを図り信頼関係を築く。また看多機とはどういったものか等特色について理解を深めることができた	① 支援相談があった場合は積極的に関わり、利用開始となったケースもあった。引き続き地域の方々が安心して暮らせるまちづくりに貢献したい
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		① 利用者個々に合わせた計画立案・目標達成を行う ② 在宅にて看取りを希望する利用者に安心して利用できるよう体制を構築する	① 在宅での療養生活において不安がないよう傾聴しながら計画を立案できた。また状況が変わればその都度計画を再立案していった ② 介護職も不安なく看取り期の利用者を受け入れられるよう指導を行った	③ ①②利用者・家族に合わせた計画立案ができた。状況が変わった際はその都度カンファレンスを行い計画の見直しをするなど、臨機応変に対応できた

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	①理念の明確化 わかりやすく、覚えやすい理念に改訂し、全職員へ周知した ②人材育成 各スタッフのスキルに合わせた目標・計画立案、定期的な面談を実施できた ③ 事業所内研修実施と積極的参加 毎月、職員が講師になり事業所内で研修実施 ④事故報告書の共有と対応 どんなに小さなインシデントも報告する習慣がついてきた。また、みんなで話し合い再発防止策の立案ができたことで危機管理意識を高めることができた	①理念を踏まえた目標設定・目標管理をすることで、理念を浸透させる ②引き続き、目標・計画立案、定期的な面談を実施していく ③引き続き毎月、職員が講師になり事業所内で研修実施、参加しやすいように勤務に組み込んでいく ④事故対策が有効であったか分析をしていき、再発防止に務める
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27) ①状況把握及びアセスメントを行い専門的な視点で計画書を作成する 利用者・家族に合わせた計画立案ができた。状況が変わった際はその都度カンファレンスを行い計画の見直しをするなど、臨機応変に対応できた ②看取りを希望されている利用者を積極的に受け入れる体制づくり 必要時、カンファレンスを行い、スタッフが不安なく看取り期の利用者を受け入れられる体制をつくった 具体的な対応方法をわかりやすく掲示することで統一したケアの提供ができた	①カンファレンスの機会を増やすことで、より専門的視点で計画立案をしていく ②積極的に看取りを希望される利用者の受け入れをするため、事例検討勉強会を実施

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	①病院や訪問診療医とのカンファレンス参加 退院前・週 1 カンファレンスの参加はできており連携が図れている	①引き続き、退院前・週 1 カンファレンスの参加
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	①地域住民参加の夏祭りやヨガ教室を実施 地域の方々とのコミュニケーションを図り信頼関係を築くことができた。また看多機とはどういったものか等特色について理解を深めてもらうことができた	①さらに地域住民参加型の行事を企画・運営していく (クリスマス会・音楽演奏会等)
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		①在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、看取りに対する安心感のみならず、満足感・達成感を感じることができたとの言葉を多く頂いた	①利用者・家族の希望が叶えられる計画の立案を実施

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げ	4	13				✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ている						
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	3	9	5		理念をわかりやすく揭示されている。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・よくみる場所に理念を掲示している。わかりやすい文言で示されている。							
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	4	5	7	1	全ての職員に目標管理シートを導入し育成計画を立案している。継続することを期待する。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・目標管理シートの作成、面談の実施							
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	4	8	5			✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・法定研修の実施あり。外部研修への参加は少ない。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	8	8	1			✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
[具体的な状況・取組内容] ・週1回のミーティングの他、日常的に連携している。							
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	1	13	1	2	事故対策等、得られた助言を積極的に取り入れている。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・参加者からの情報共有あり。具体的な提案あり。							
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くこと	7	6	3	1		✓ 「職員が、安心して働くことので

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ができる就業環境の整備に 努めている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・変化が多かったが、不安なことは上司 に相談できた。					きる就業環境」の充足度を評価し ます ✓ 例えば、「職員の能力向上の支 援」、「精神的な負担の軽減のため の支援」、「労働時間への配慮」な どが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、 随時更新を行うとともに、 必要に応じて職員間で迅速 に共有できるよう工夫され ている	8	7	2	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・申し送りノート、利用者ごとの記録フ ァイルにて情報共有し、朝夕に口頭で申 し送りもしている。		✓ 「情報の随時の更新」と「職員間 で迅速に共有するための工夫」の 2つの視点から、充足度を評価し ます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	2	14	1			✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容]					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	3	9	5			✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・連絡手段の整備がされ、各委員会が備蓄やマニュアルの管理を行い、研修会により周知を図っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		9	7		在宅時の 24 時間の生活状況を把握することは今後の課題である。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	2	11	3			✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいとい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							えます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	1	10	4	1		✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用者、家族の意向を汲み取り、看護計画を立案している。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	10	4			✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・現在の利用者のADLや精神状態に合わせた看護計画を立案、作成している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	2	10	4			✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
〔具体的な状況・取組内容〕 ・疾患よりどのようなリスクがあるのか、どのような体調の変化が予測されるか等、看護計画に記入している。変化時もその都度作成しなおしている。							
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている			12	4		✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
〔具体的な状況・取組内容〕 ・利用者の状況が変化した時は計画を立案しなおしている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	2	9	4	1		✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	5	9	2	1		✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	8	7	2			✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	10	7				✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	4	11	2			✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	12	3			✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	14	1			✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	4	11	1	1		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	7	9		1		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる	2	11	2	2		✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	5	10		2		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	4	10	1	2		✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	6	6	3	2		✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生す

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							る前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	6	8	2	1		✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u>							
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、		11	3	3		✓ 「利用者のために必要となる、介

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	[具体的な状況・取組内容]					護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見るような方法での情報発信が、迅速に行われている	6	5	5	1		✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
33	○ サービスの概要や地域にお	2	10	4	1		✓ 「積極的な啓発活動」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	いて果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u>					評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	2	2	10	1		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
35	○ 「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整ってお り、積極的に受け入れている	2	8	6	1		✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とす る要介護者を受け入れるこ とができる体制が整ってお り、積極的に受け入れている	1	5	5	5		✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とす	10	5	2			✓ 「積極的な受け入れ」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容]					充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	6	8	2		✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	8	7		1		✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	6	5	5		✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		8	8	1		✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (8) 2. 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている (6) 3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている (2) 4. 利用者の 1/3 には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u>		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (10) 2. 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている (6) 3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている 4. 利用者の 1/3 には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u>		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (11) 2. 利用者の 2/3 くらいについて、達成されている (5) 3. 利用者の 1/3 くらいについて、達成されている 4. 利用者の 1/3 には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u>		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」